

3月になり気温が上がり、外出するのが楽しい季節になりました。3月19日から27日まで春休み期間でしたので、多くの学生は帰省したり、旅行へ出かけたりして、キャンパス内は少し静けさに包まれていました。私は、キャンパスの中を散策したり、買い物へ行ったり、友人の家へ遊びに行ったり、と充実した休暇を過ごすことができました。

今回は、3月30日現在までに経験したことを報告致します。



授業

春学期も残り約1カ月半となりました。前回の2月の報告書に履修科目の進捗報告を記しました通り、現在も同様に授業は進んでいます。今回は、授業を受講する際に興味深いと感じた点について報告させていただきます。

BIOC 406 Gene Expression と **FSHN 471 Food & Industrial Microbiology** の授業では、学期後半に入ったため、前半の教授に代わって新しい教授が講義を担当されています。このように、長い1学期間の授業を2人の教授が担当しているクラスもあります。最近の **FSHN 471** では、ディスカッションを行う時間が設けられます。約60人規模のクラスで、座席も個々に分かれています。教授がパワーポイントに提示した質問について数分間近隣の人と話合う機会が設けられます。知識を詰め込むだけでなく、重要な内容については自分で考えることの必要性を感じました。

真核生物の遺伝子配列を比較し、生物間や各生物種の進化を学ぶ科目 **IB 404 Comp Genomics of Eukaryotes** の授業の中で、The Roy J. Carver Biotechnology Center という、遺伝子やタンパク質に関する研究施設を訪問する機会がありました。本学のゲノム生物学研究所の約3倍の大きさの建物の中には、実験機器によって部屋が分かれておりました。私たち学生が小人数であったことから、教授がそこで研究をされていることから、1時間の授業内にそれらの部屋を訪問することができました。そこで各部屋担当の教授から研究内容や機器の説明を受けました。実際に授業で実験の原理や方法を学んでいるため、実物を見せてもらうことで良い復習をすることができました。大きな大学の研究施設だけあり、研究者の人数や機器の規模や数には圧倒されました。

また、約3週間前にこの授業の中間試験がありました。形式は記述問題でした。研究者の名前とその功績、各生物の遺伝的観点からみた特徴、そして実験原理とその方法について問われました。特に各生物の特徴については、曖昧な記憶では解答することができず、少し悔しい思いをしました。したがって、きちんと復習を行い、期末試験では今回以上の結果が得られるように頑張りたいと思います。

現在履修している4科目の授業全てにおいて、試験前には必ず練習試験問題で問題形式を確認することができます。**MCB150 Molec & Cellular Basis of Life** のような約650人以上のクラスになると、練習問題の質問は専用ホームページの質問掲示板に書き込むことができます。また、試験前には通常とは違う日程に組まれた教授やTAの臨時オフィスアワーが設けられます。このように学生にとって重要である試験に対し、素晴らしい環境作りをして下さっていることがうかがえます。

以上が授業に関する報告です。

セント・パトリックデイ

3月17日のセント・パトリックデイは、アイルランドにカトリック教を広めた宣教者、聖パトリックの命日です。日本ではあまり馴染みがない祝日ですが、アイルランド系が多いアメリカでは昔から盛大にお祝いをする。この日、アメリカではアイルランドを象徴する緑色のものを身につけて、お酒を飲んだり、パレードをしたりします。実は、イリノイ大学周辺には「アンオフィシャル・セントパトリックデイ」というものが存在します。今年は3月5日(金)でした。これには、2つの理由があります。1つ目は、祝日当日が例年春休みになるため、皆でお祝いできないこと。2つ目は、金曜に行くことで授業へ影響を及ぼさないことです。実際、この日は多くの人々が緑の服を着ていました。また、バーが朝から開店しているため、朝7時半からバーへ出かける人もいました。酔っ払って歩いている人が多くいるため、キャンパス周辺はもちろん、キャンパス内にも警官が監視しています。大人数のクラスが開講される建物では、荷物検査も行われました。

私はこの日、授業が終わると友人と待ち合わせてバーへ行きました。午後3時だというのに、どのバーも行列ができていました。この日は緑色のビールを飲むことができます。大変楽しく、愉快な一日でした。

下の写真右は、マクドナルドで販売されているセント・パトリックデイ期間限定シェイクです。味はミントでした。このように、様々な企業もこの日を盛り上げています。



ボランティア



3月は多くのボランティア活動に参加しました。以前にも記しましたが、様々な種類のボランティア情報が定期的にメールで送られてきます。そこから得た情報で今月は、最近映画が公開された「Alice and Wonderland」に関連したイベントと大学内で開催された親子ゲーム大会に参加しました。左上が、「Alice and Wonderland」のイベントの時の写真です。子供のためのサイエンスミュージアムがキャンパスの近くにあり、このミュージアムの中に不思議の国のアリスを物語に沿ったアトラクションが創られました。イベントの趣旨は、子供連れの家族が物語の登場人物(衣装を着たスタッフ)と出会いながら、アトラクションを楽しむというもの。私は、スタッフの方々のお手伝いいただいたのですが、本から抜け出たような登場人物と子供達のやり取りを見ながら楽しく働くことができました。

上中、上右の写真は、親子ゲーム大会の写真です。キャンパス内のジムの中で様々な種類のゲームが用意され、幼稚園・小学生の男の子と母親がゲームを廻っていくというイベントでした。私は、一つのゲームの担当をやらせてもらい、子供達と一緒にゲームをし、楽しい時間を過ごすことができました。

このようなボランティアを行うと、様々な年代の方々と接することができます。特に親子と接することで、わずかながらアメリカの家庭環境を垣間見ることができるような気がします。

留学生活も残り約1カ月半となりました。帰国までの短い期間も充実した日々を過ごしたいと思っています。読んでいただきありがとうございました。これで3月の報告とさせていただきます。